

防災情報の入手先

みなべ町の防災情報や土砂災害等の情報は、インターネットなどからも確認することができます。自ら情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難してください。

みなべ町ホームページ ●みなべ町の防災に関する情報を提供。 http://www.town.minabe.lg.jp/	防災わかやまメール配信サービス(無料) ●防災情報をメールでお知らせするサービスです。 登録方法: regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp にメールを送信。
みなべ町 防災・災害情報システム ●防災災害カメラや避難地情報などをお知らせするシステム。 http://bousai.town.minabe.lg.jp/	防災わかやま ●和歌山県内の災害・防災・避難情報などを提供。 http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/
リアルタイムレーダー ●全国の雨量情報をリアルタイムで提供。 https://www.jma.go.jp/jp/realtime/index.html	川の防災情報 ●全国の国管理河川の水位などの情報を提供。 https://www.river.go.jp/
気象庁 ●全国の気象に関する情報、その他の災害情報などを提供。 http://www.jma.go.jp/jma/	わかやま土砂災害マップ ●和歌山県内の土砂災害危険箇所などの情報を公開。 http://sabomap.pref.wakayama.lg.jp/

避難行動要支援者について

避難行動要支援者とは、高齢者や障がいのある方、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方などの方、災害発生時に自ら避難することが困難で、何らかの支援が必要な人々の方です。地域で協力しあひながら、安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

- 高齢者・病人**
 - おぶって安全な場所まで避難する。
 - 複数の介助者に対応する。
- 肢体の不自由な方(車椅子)**
 - 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
 - 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。
- 目の不自由な方**
 - 声をかけ情報を伝える。
 - 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。
- 耳の不自由な方**
 - 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

わが家の防災メモ

家族みんなで避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、ここに書き込みましょう。避難先までにかかった時間などをチェックし、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。

●避難所・避難場所

第1候補	第2候補	第3候補
歩いて避難した場合にかかった時間	歩いて避難した場合にかかった時間	歩いて避難した場合にかかった時間
分	分	分

●家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

(令和3年発行)



避難の心得

- いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。
- 状況により、すばやく避難しましょう**
避難の準備を心がけ、周辺の状況を確認し、素早く避難しましょう。
 - 外出中の家族には連絡メモを残そう**
「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。
 - 住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう**
特に高齢者や子どもは、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。
 - 集団で助け合おう**
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
 - 車での避難は控えてください**
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えてください。
 - できるだけ安全なルートで避難しましょう**
川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
 - 非常持ち出し品は最小限に**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
 - 避難所等では係の人の指示に従いましょう**
避難所等に到着したら、住所、氏名などを報告し、係の人の指示に従いましょう。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の3階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。

危険な避難

避難場所への避難(水平避難)

高所への避難(垂直避難)

土砂災害から身を守るためのポイント

- 住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認しましょう。
 - 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意しましょう。
 - 危険を感じたら早めに避難してください。
- 逃げ遅れるなどして屋外への移動が困難な場合は…
- 家の階以上(4階と反対側)
 - それも困難なら
 - がけから離れた部屋へ

土砂災害と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ土石流やがけ崩れ、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、みなべ町へご連絡ください。

がけ崩れ 急傾斜地の崩壊

地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちることもあります。地震によって起こることもあります。突発的に起こり、短時間のうちに崩れたり、落石があるので、逃げ遅れた場合、死者が出る割合が高くなります。

土石流

谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水と一緒に流れてくるものです。破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。

地すべり

地中の粘土層などをすべりやすい面にしみ込んだ雨水などの影響で、山腹がゆっくりと動き出す現象です。比較的緩やかな斜面でも起こります。一度に広い範囲が動くため、住宅や道路、耕地などに大きな被害をもたらします。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、和歌山県と和歌山地方気象台が共同で作成・発表する情報です。

土砂災害警戒情報は、市町村長が避難指示を発令する際の判断材料となる重要な情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、自主避難の判断を行ってください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、避難活動を行ってください。

詳しくは…
[和歌山県土砂災害警戒情報 http://kasensab02.pref.wakayama.lg.jp/](http://kasensab02.pref.wakayama.lg.jp/)

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は?

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ → 色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

はい → 災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

- 浸水の危険があっても、次のような場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
 - ▶ 洪水により家が倒壊、又は、崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
 - ▶ 浸水する深さよりも高いところにいる。
 - ▶ 浸水しても水・食糧などの備えが十分にあり、水がひくまで我慢できる。
- 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の高層階に住んでいる場合は自宅に留まり、安全確保をすることも可能です。

ご自身、または、一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい → 警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

いいえ → 警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している避難所に避難しましょう。

はい → 警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

いいえ → 警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している避難所に避難しましょう。

大雨・洪水に関する注意報・警報

和歌山地方気象台からは、次のような場合に注意報・警報が発表されます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨になると予想したときに発表。
大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	「洪水は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。」

「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります

●このほか、数年に一度の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、近くで災害の発生につながる事象が生じていることを意味しています。
 ※みなべ町に注意報・警報が発せられる際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

雨の強さと降り方(1時間雨量)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
地面一面に水たまりができ、足音が聞きにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨、傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、がけ崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したように降る雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。各避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。

避難情報の種類等	南郡川		河川局	
	谷	滝	観測所	観測所
氾濫の発生				
緊急安全確保				
氾濫危険水位			2.9m	
避難判断水位			2.4m	
避難注意水位			2.2m	4.0m
水防団待機水位			2.0m	3.4m
ふだんの水位				

非常持ち出し品の準備

災害が発生したときは、速に避難しなければいけません。そのようなときに備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

避難のとき、両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品	衣類など
<ul style="list-style-type: none"> 飲料水(1人1日3リットルを目安) 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) 日頃から、7日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) 包帯、ガーゼ、ばんそうこう 傷薬、消毒薬 持病のある方の薬 ヘルメット、防炎せん ホイッスル マスク 体温計 消毒液 	<ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭も必要) 預貯金通帳、印鑑 クレジットカード類 健康保険証 免許証など(身分を証明するもの) 権利証書 	<ul style="list-style-type: none"> 衣類(厚手の物と薄い物) 下着類 タオル、毛布 手袋、手巾 寝袋 雨具

- ### 衣類など
- ボリ袋(ビニール袋)
 - 新聞紙
 - ろうそく、ライター
 - ナイフ、缶切り
 - ティッシュペーパー
 - ウェットティッシュ
 - 懐中電灯(予備電池)
 - 携帯ラジオ(予備電池)
 - 携帯電話(充電器・バッテリー)
 - 筆記用具(油性マジック)
 - 洗面用具
 - メガネ
 - 使い捨てカイロ
 - 紙おむつ
 - 生理用品
 - 布ガムテープ
 - ロープ
 - 地図
 - ハザードマップ